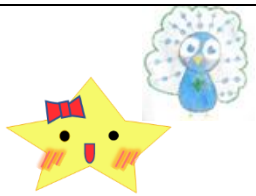
学校だより

たつだ



No，５
令和７年８月２９日
文責　穴井

【校訓】　健康　誠実　協力

子どもも職員も、楽しく笑顔あふれる龍田小学校をつくろう　～人と言葉と命を大切に～

２学期の始業式では以下のようなお話をしました。

みなさん　おはようございます。終業式や学校朝会で、龍田小学校の教育目標をお話してきました。覚えていますか。そう、「子どもも職員も、楽しく笑顔あふれる龍田小学校をつくろう」ですね。それを達成するために、「人と言葉と命を大切に」というお話もしました。

さて、これは何でしょう？そう、一粒のお米です。今日は、一粒の米にまつわるお話をします。

・・・むかし、江戸時代（お侍さんがいた時代です）に新井白石というえらい学者がいました。徳川の将軍さまに仕えて、大きな仕事をした人です。でも最初からえらかったわけではありませんでした。子どもの時は、勉強が好きではなく、朝から晩まで友達と遊びまわっていたそうです。それを見たお父さんが白石にこんな話をしました。

米櫃（お米をいれる木箱のこと）から、一粒の米をとっても、お米が減ったかどうかはわからない。けれども１年、２年、そして３年と毎日一粒ずつ取っていくと、減ったことが分かる。反対に米櫃に一粒の米を入れても増えたかどうかはわからない。けれども、１年、２年、３年と毎日一粒ずつ入れていくと、増えたことがわかる。

勉強や習い事も同じだ。１日だけ勉強したり練習したりしても、すぐにかしこくなったり、上手になったりすることはない。反対に１日怠けたからといって、次の日に、すぐにわからなかったり、下手になったりするわけではない。　けれども毎日、毎日、ほんの少しずつでも努力を続けると、１年や２年後にはわかるようになり、上手になったこともわかる。毎日怠けていると、気が付いたときには勉強もわからなくなり、下手になってしまっているものだ・・・

これを聞いた新井白石は、一粒の米を机の上にお守りとしていつも置いておき、怠けようという心が起きたとき、その米粒を見て自分を励ましたそうです。お父さんのお話を聞いて、実際に努力を続けた白石は素晴らしいですね。このお話を考えながら、私は龍田小の「続けて頑張る姿」を思い出しました。

まずは「あいさつ」。朝からさわやかな声で挨拶できる子が増えてきました。

「くつばこ」。きれいにかかとをそろえて置いていますね。

「掃除」。毎日無言掃除で、隅々を徹底的に掃除しています。とても掃除が上手になってきています。

「暗唱」。毎日暗唱を頑張っているお友達もいます。毎日練習を頑張り、校長室に通ったお友達は、とても上手になりました。

「百人一首」。続けることで、とても上手になっています。

「話し合い」。いい表情で話し合っていますね。友達の考えを聞いて、自分の考えもよりよくなっていきます。

「話している人をしっかりと見る」。とても安心感がありますね。安心して発表できるようになっています。毎日の積み重ねって大事ですね。

さあ、いよいよ今日から２学期の始まりです。勉強や運動の毎日の積み重ねを大事にし、一人一人が自分なりにがんばってほしいと思います。本を読む、家の手伝いを決めて継続する、朝起きる時間を決めて規則正しい生活を続けるのもいいですね。自分で決めて取り組んでみましょう。

くじけそうなときは、「一粒の米」の話を思い出してください。そして笑顔あふれる２学期のスタートをきりましょう。